

総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同
WFEO 分科会（第 24 期・第 2 回）議事録

1. 日時 平成 31 年 2 月 5 日（火）10:00～12:00
2. 場所 日本学術会議 5 階 5-C(1)会議室
3. 出席者 池田駿介、小松利光、為近恵美、塚原健一、柘植綾夫、中村道治、山本佳世子
(敬称略)
4. 配布資料
資料 1 前回（第 1 回）議事録案
資料 2 Dr. Marlene Kanga（現会長）の WFEO メンバー向けのメッセージ
資料 3 First Call for Nomination for Elections at WFEO General Assembly, 23 November
2019, Melbourne
資料 4 今年の WFEO プログラム

5. 議題

(1) 前回（第 1 回）議事録案の承認

- ・山本幹事から前回議事録案が紹介され、了承された。

(2) 新委員紹介

- ・新委員として、為近委員、中村委員の紹介が行われた。塚原委員長より、副委員長として総合工学委員会の為近委員が指名された。

(3) WFEO の動きについて

- ・塚原委員長より、拡大理事会についての報告が行われた。
- ・今年 11 月にメルボルンで開催される WFEO の総会で、International Member と National Member を増員することを審議することが決定した。
- ・Members' fee の見直しを行うことが決定した。
- ・今年 4 月にスロベニアで WCF2019 が開催され、WFEO Board meetings も開催されることになった。
- ・塚原委員長、山本幹事より、昨年 10 月にロンドンで開催された WFEO について報告が行われた。
- ・英語圏からの参加者が多く、ヨーロッパ諸国からの参加者が少なかった。
- ・次期会長が Dr. Gong Ke（中国）であるため、中国からの団体参加者が多かった。

- ・SDGsが主要テーマとされ、災害に関連したセッションに多くの参加者がいた。
- ・今年11月にメルボルンで開催予定のWFEO総会において、**International Member**としての日本学術会議から、財務諸表の公開を提案することとした。

(4) 日本におけるWFEO関係活動の方向性について

- ・各**Technical Committee**に日本から委員を派遣することが期待される。日本工学アカデミーの若手委員会、日本学術会議若手アカデミーなどの委員から、**Young Engineering Committee**に若手研究者を派遣し、若手の国際的なアクティビティを高めることが必要である。塚原委員長から日本工学アカデミーに対して、本分科会に委員として参加していただく若手を推薦していただくことを依頼することとした。
- ・日本がリーダーシップを取ることができる新しい**Technical Committee**を検討し始めることとした。インフラなどがテーマとして提案された、
- ・日本学術会議のSDDGsへの取り組みについて、WFEOで基調講演を行うことが必要である。日本学術会議が**Plenary session**を担当することをWFEOに提案し、報告者は今後検討することとした。
- ・塚原委員長を**National Member**として推薦することとした。

(以上)